# 安全データシート
# MOLYKOTE(R) AS-880N GREASE

Dow Corning Toray Co., Ltd.

| 版番号 | 作成改訂日: | 整理番号: | 前回作成改訂日: 2015/10/20 |
|---|---|---|---|
| 2.0 | 2016/06/06 | 672627-00006 | 初回作成日: 2014/10/27 |

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : MOLYKOTE(R) AS-880N GREASE

製品コード : 000000000002674581

**供給者情報**

供給者の会社名称 : 東レ・ダウコーニング株式会社

住所 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 5 番 1 号

電話番号 : 03-3287-8300（お問い合わせ先）

緊急連絡電話番号 : 0436-21-3101

**推奨用途及び使用上の制限**

推奨用途 : 潤滑剤および潤滑剤添加物

## 2. 危険有害性の要約

**GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : シリコーングリース

**危険有害成分**

| 化学名 | CAS 番号 | 含有量 (% w/w) | 官報公示整理番号 |
|---|---|---|---|
| グラファイト | 7782-42-5 | >= 1 - < 10 | |
| 雲母 | 12001-26-2 | >= 1 - < 10 | |
| ジメチルジクロロシラン処理シリカ | 68611-44-9 | >= 1 - < 10 | |
| 酸化マグネシウム | 1309-48-4 | >= 1 - < 10 | 1-465 |
| オクタメチルシクロテトラシロキサン | 556-67-2 | >= 0.1 - < 1 | 7-475 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石英 | 14808-60-7 | >= 0.1 - < 1 | 1-548 |

## 4. 応急措置

| | | |
|---|---|---|
| 一般的アドバイス | : | 事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者の診察を受ける。<br>症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。 |
| 吸入した場合 | : | 吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所へ移動する。<br>医療処置を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 接触した場合、直ちに皮膚を石けんと多量の水で洗い流す。<br>汚染した衣服および靴を脱ぐ。<br>医療処置を受ける。<br>再使用の前に衣服を洗う。<br>靴を再使用する前に完全に洗う。 |
| 眼に入った場合 | : | 予防措置として、水で眼を洗浄する。<br>刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。<br>医療処置を受ける。<br>水で口をよくすすぐ。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : | 知見なし。 |
| 応急措置をする者の保護 | : | 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性がある場合は、項目 8 の適切な個人保護具を参照のこと。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : | 支持療法および対症療法を受けること。 |

## 5. 火災時の措置

| | | |
|---|---|---|
| 消火剤 | : | 水スプレー<br>耐アルコール泡消火剤<br>二酸化炭素（CO2）<br>粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | : | 知見なし。 |
| 特有の危険有害性 | : | 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。 |
| 有害燃焼副産物 | : | 炭素酸化物<br>ケイ素酸化物 |

ホルムアルデヒド
金属酸化物
塩素化合物

特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域より退避させること。

消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。

環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
汚染された洗い水を保持し、処理する。
流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性な吸収材で吸収させる。
多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。
漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。
本物質を放出および廃棄処理する際、および、その浄化に使用した資材や品目を廃棄する際には、地方自治体や国の規則が適用されることがある。どの規則が適用されるかを決定する必要がある。
本 SDS の項目 13 および 15 では、特定の地域または国の基準に関する情報が掲載されている。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**

技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

局所排気，全体換気 : 適切な換気装置の下でのみ使用する。

安全取扱注意事項 : 飲み込まない。
眼との接触を避ける。
皮膚への長期のまたは反復接触を避ける。

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。

接触回避 : 酸化剤

衛生対策 : 作業場の近くに目の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
これらの注意事項は、室温で取り扱う場合に適用される。室温より高温で使用する場合やエアゾール／スプレー用途には、それ以外の注意事項も適用されることがある。

**保管**

安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 次の製品種類といっしょに保管しない：
強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

**作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

| 成分 | CAS 番号 | 指標 (暴露形態) | 管理濃度 / 許容濃度 | 出典 |
|---|---|---|---|---|
| グラファイト | 7782-42-5 | OEL-M (吸入性粉) | 0.5 mg/m3 | 日本産業衛生学会（許容濃度） |
| | 詳細情報: 第 1 種粉塵 | | | |
| | | OEL-M (総粉) | 2 mg/m3 | 日本産業衛生学会（許容濃度） |
| | 詳細情報: 第 1 種粉塵 | | | |
| | | TWA (呼吸濃度) | 2 mg/m3 | ACGIH |
| 雲母 | 12001-26-2 | OEL-M (吸入性粉) | 1 mg/m3 | 日本産業衛生学会（許容濃度） |
| | 詳細情報: 第 2 種粉塵 | | | |
| | | OEL-M (総粉) | 4 mg/m3 | 日本産業衛生学会（許容濃度） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 詳細情報: 第 2 種粉塵 | | | |
| | | TWA (呼吸濃度) | 3 mg/m3 | ACGIH |
| 酸化マグネシウム | 1309-48-4 | OEL-M (吸入性粉) | 2 mg/m3 | 日本産業衛生学会（許容濃度） |
| | 詳細情報: 第 3 種粉塵 | | | |
| | | OEL-M (総粉) | 8 mg/m3 | 日本産業衛生学会（許容濃度） |
| | 詳細情報: 第 3 種粉塵 | | | |
| | | TWA (吸入濃度) | 10 mg/m3 | ACGIH |
| オクタメチルシクロテトラシロキサン | 556-67-2 | TWA | 10 ppm | DCC OEL |
| 石英 | 14808-60-7 | OEL-C (吸入性粉) | 0.03 mg/m3 (シリカ) | 日本産業衛生学会（許容濃度） |
| | 詳細情報: 吸入性結晶質シリカおよび吸入性粉塵は以下の捕集率 R（dae）で捕集された粒子の質量濃度である． R（dae）＝ 0.5［1 ＋ exp（－0.06dae）］［1 － F（x）］ dae：空気動力学的粒子径（μ m），F（x）：標準正規変数の累積分布関数 x ＝ ln（dae/Γ ）/ln（Σ ），ln 自然対数，Γ ＝ 4.25 μ m，Σ ＝ 1.5，発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質．III．発がん物質の前文参照．，発がん物質，「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である．この群に分類される物質は，疫学研究からの十分な証拠がある． | | | |
| | | TWA (呼吸濃度) | 0.025 mg/m3 (シリカ) | ACGIH |

**設備対策** ： 処理により危険有害化合物が発生することがある（項目 10 を参照）。
特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

**保護具**

呼吸用保護具 ： 適切な局所排気装置が供給されない場合や、曝露評価によって曝露量が推奨曝露ガイドライン以下であることが証明されない場合には、呼吸用保護具を着用 すること。

フィルタータイプ ： 微粒子用タイプ

手の保護具

材質 ： 耐化学性手袋

備考 ： 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手

袋を選ぶこと。 この製品が手袋を透過する時間は分かっていない。 手袋を頻繁に取り替える。 特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。 休憩前や終業時には手を洗う。

眼の保護具 : 次の個人保護具を着用する：
保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。
不浸透性の保護衣（手袋、前掛け、長靴など）を使用することで皮膚への接触を避ける。

## 9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|---|---|---|
| 外観 | : | グリース |
| 色 | : | 黒色 |
| 臭い | : | なし |
| 臭いのしきい(閾)値 | : | データなし |
| pH | : | 非該当 |
| 融点・凝固点 | : | データなし |
| 沸点，初留点及び沸騰範囲 | : | 非該当 |
| 引火点 | : | > 200 ° C<br>方法: セタ密閉式引火点試験 |
| 蒸発速度 | : | 非該当 |
| 燃焼性（固体、気体） | : | 引火の危険性として分類されていない |
| 爆発範囲の上限 | : | データなし |
| 爆発範囲の下限 | : | データなし |
| 蒸気圧 | : | 非該当 |
| 蒸気密度 | : | データなし |
| 比重（密度） | : | 1.15 |
| 溶解度 | | |
| 水溶性 | : | データなし |

| | | |
|---|---|---|
| n-オクタノール／水分配係数 | : | データなし |
| 自然発火温度 | : | データなし |
| 分解温度 | : | データなし |
| 粘度(粘性率) | | |
| 粘度 | : | 非該当 |
| 爆発特性 | : | 非爆発性 |
| 酸化特性 | : | この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。 |
| 分子量 | : | データなし |

## 10. 安定性及び反応性

| | | |
|---|---|---|
| 反応性 | : | 反応性危険としては分類されない。 |
| 化学的安定性 | : | 通常の状態では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : | 高温で使用すると、非常に有害な化合物を生成する可能性がある。<br>強い酸化剤と反応することがある。<br>高温で有害な分解生成物が生成される。 |
| 避けるべき条件 | : | 知見なし。 |
| 混触危険物質 | : | 酸化剤 |

**危険有害な分解生成物**

| | | |
|---|---|---|
| 熱分解 | : | ホルムアルデヒド |

## 11. 有害性情報

| | | |
|---|---|---|
| 可能性のある暴露経路の情報 | : | 皮膚接触<br>摂取<br>眼接触 |

**急性毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**グラファイト:**

| | | |
|---|---|---|
| 急性毒性（経口） | : | LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg |

方法: OECD 試験ガイドライン 401
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 2 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: ダスト/噴霧
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

**雲母:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

**ジメチルジクロロシラン処理シリカ:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 7,900 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。
備考: 情報は参考資料および文献を参照した。

**酸化マグネシウム:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 3,870 - 3,990 mg/kg

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 4,800 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。
備考: 試験データに基づく

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 2975 ppm
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 試験データに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 2.5 ml/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。
備考: 試験データに基づく

**石英:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**グラファイト:**

種: ウサギ
方法: OECD 試験ガイドライン 404
結果: 皮膚刺激なし

**雲母:**

結果: 皮膚刺激なし

**ジメチルジクロロシラン処理シリカ:**

種: ウサギ
結果: 皮膚刺激なし
備考: 同類の材料によるデータに基づく

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

種: ウサギ
結果: 皮膚刺激なし
備考: 試験データに基づく

**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**グラファイト:**

種: ウサギ
結果: 眼への刺激なし

**雲母:**

結果: 眼への刺激なし

**ジメチルジクロロシラン処理シリカ:**

種: ウサギ
結果: 眼への刺激なし
備考: 同類の材料によるデータに基づく

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

種: ウサギ

結果: 眼への刺激なし
備考: 試験データに基づく

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**呼吸器感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**グラファイト:**

試験タイプ: 局所リンパ節アッセイ（LLNA）
暴露の主経路: 皮膚接触
種: マウス
結果: 陰性

**雲母:**

暴露の主経路: 皮膚接触
結果: 陰性

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

アセスメント: 皮膚を過敏化させない。

試験タイプ: 最大化試験
種: モルモット
備考: 試験データに基づく

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**グラファイト:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験（AMES）
結果: 陰性

**ジメチルジクロロシラン処理シリカ:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験（AMES）
結果: 陰性
備考: 同類の材料によるデータに基づく

**酸化マグネシウム:**

| | | |
|---|---|---|
| in vitro での遺伝毒性 | : | 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)<br>方法: OECD 試験ガイドライン 471<br>結果: 陰性 |

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

| | | |
|---|---|---|
| in vitro での遺伝毒性 | : | 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく |
| | : | 試験タイプ: 変異原性(in vitro 哺乳類細胞遺伝学的試験)<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく |
| | : | 試験タイプ: in vitro 染色体異常試験<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく |
| | : | 試験タイプ: 哺乳動物細胞を用いる in vitro 姉妹染色分体交換試験<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく |
| | : | 試験タイプ: DNA 損傷と修復、哺乳物細胞の不定期 DNA 合成 (in vitro)<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく |
| in vivo での遺伝毒性 | : | 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo 細胞毒性試験)<br>種: ラット<br>投与経路: 吸入(蒸気)<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく<br><br>試験タイプ: げっ歯類優性致死試験 (胚細胞) (in vivo)<br>種: ラット<br>投与経路: 飲み込んだ場合<br>結果: 陰性<br>備考: 試験データに基づく |
| 生殖細胞変異原性 - アセスメント | : | 動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。 |

**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**石英:**

種: ヒト
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
結果: 陽性
備考: IARC (国際がん研究機関)
この物質は製品中でしっかりと結合しているため、粉塵吸引の危険性の原因にはならない。

発がん性 - アセスメント : ヒトの疫学的検査(吸入)で陽性反応

**生殖毒性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**グラファイト:**

| | | |
|---|---|---|
| 妊娠に対する影響 | : | 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験<br>種: ラット<br>投与経路: 飲み込んだ場合<br>方法: OECD 試験ガイドライン 422<br>結果: 陰性 |
| 胎児の発育への影響 | : | 試験タイプ: 生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験<br>種: ラット<br>投与経路: 飲み込んだ場合<br>方法: OECD 試験ガイドライン 422<br>結果: 陰性 |

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

| | | |
|---|---|---|
| 妊娠に対する影響 | : | 試験タイプ: 二世代生殖毒性試験<br>種: ラット, オスおよびメス<br>投与経路: 吸入(蒸気)<br>症状: 受精率への影響。<br>備考: 試験データに基づく |
| 胎児の発育への影響 | : | 試験タイプ: 胎児期成長毒性試験(催奇形性)<br>種: ウサギ<br>投与経路: 吸入(蒸気)<br>症状: 胎児の発育への影響はない。<br>備考: 試験データに基づく |
| 生殖毒性 - アセスメント | : | 動物実験によると性的機能および繁殖力への悪影響があることが一部立証されている。 |

**特定標的臓器毒性，単回ばく露**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**特定標的臓器毒性，反復ばく露**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:**

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

暴露の主経路: 飲み込んだ場合
アセスメント: 濃度範囲 100 mg/kg bw 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

暴露の主経路: 吸入(蒸気)
アセスメント: 濃度範囲 1 mg/l/6h/d 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

暴露の主経路: 皮膚接触
アセスメント: 濃度範囲 0.2 mg/l/6h/d 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

**石英:**

暴露の主経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
標的臓器: 肺
アセスメント: 濃度範囲 0.02 mg/l/6h/d 未満で動物における重大な健康への悪影響が発生した。

**反復投与毒性**

**成分:**

**グラファイト:**

種: ラット
NOAEL: 12 mg/m3
投与経路: 吸入(ダスト/噴霧/煙)
曝露時間: 28 Days
方法: OECD 試験ガイドライン 412

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
備考: 試験データに基づく

種: ラット
投与経路: 吸入(蒸気)
備考: 試験データに基づく

種: ウサギ

投与経路: 皮膚接触
備考: 試験データに基づく

**石英:**

種: ヒト
LOAEL: 0.053 mg/m3
投与経路: 吸入
備考: OECD SIDS
この物質は製品中でしっかりと結合しているため、粉塵吸引の危険性の原因にはならない。

**吸引性呼吸器有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**詳細情報**

**成分:**

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

備考: 2 年間に及ぶラットに対する繰り返しの D4 蒸気吸入暴露試験結果は、メスの動物の子宮に良性線腫を引き起こした。これは最大暴露量(700ppm)のレベルでのみ観察された。研究結果は、これら影響がヒトに関連する経路で起こるかどうかを示すものではない。ラットに対する D4 の繰り返し暴露により、肝臓にプロトポルフィリン蓄積が見られた。プロトポルフィリン蓄積を導く特定のメカニズムは不明であり、この結果のヒトへの関連性は知られていない。

## 12. 環境影響情報

**生態毒性**

**成分:**

**グラファイト:**

| | | |
|---|---|---|
| 魚毒性 | : | LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l<br>曝露時間: 96 h<br>方法: OECD 試験ガイドライン 203 |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 | : | EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l<br>曝露時間: 48 h<br>方法: OECD 試験ガイドライン 202 |
| 藻類に対する毒性 | : | EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 100 mg/l<br>曝露時間: 72 h<br>方法: OECD 試験ガイドライン 201 |
| 細菌に対する毒性 | : | EC50: > 1,012.5 mg/l<br>曝露時間: 3 h<br>方法: OECD 試験ガイドライン 209 |

**ジメチルジクロロシラン処理シリカ:**

| | | |
|---|---|---|
| 魚毒性 | : | LC50 (Agonus cataphractus （ポッジ)): > 100 mg/l<br>曝露時間: 96 h<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 | : | EC50 (Crangon crangon （エビ)): > 100 mg/l<br>曝露時間: 48 h<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| 魚毒性 (慢性毒性) | : | 最大無影響濃度 (Agonus cataphractus （ポッジ)): > 100 mg/l<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) | : | 最大無影響濃度 (Crangon crangon （エビ)): > 10 - 100 mg/l<br>曝露時間: 21 d<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |

**酸化マグネシウム:**

| | | |
|---|---|---|
| 魚毒性 | : | LC50 (Pimephales promelas （ファットヘッドミノウ)): 2,119.3 mg/l<br>曝露時間: 96 h<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 | : | EC50 (Daphnia magna （オオミジンコ)): 548.4 mg/l<br>曝露時間: 48 h<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| 藻類に対する毒性 | : | EC50 (Desmodesmus subspicatus （緑藻)): > 100 mg/l<br>曝露時間: 72 h<br>方法: OECD 試験ガイドライン 201<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) | : | 最大無影響濃度 (Daphnia magna （オオミジンコ)): 321 mg/l<br>曝露時間: 21 d<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |
| 細菌に対する毒性 | : | EC50: > 900 mg/l<br>曝露時間: 3 h<br>方法: OECD 試験ガイドライン 209<br>備考: 同類の材料によるデータに基づく |

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

| | | |
|---|---|---|
| 魚毒性 | : | LC50 (Oncorhynchus mykiss （ニジマス)): > 0.022 mg/l<br>曝露時間: 96 h<br>備考: 溶解度限界値における毒性無し |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物 | : | EC50 (Daphnia sp. （ダフニア sp.)): > 0.015 mg/l |

| | | |
|---|---|---|
| に対する毒性 | | 曝露時間: 48 h<br>備考: 溶解度限界値における毒性無し |
| 魚毒性 (慢性毒性) | : | 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss （ニジマス)): >= 0.0044 mg/l<br>備考: 溶解度限界値における毒性無し |
| ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) | : | 最大無影響濃度 (Daphnia magna （オオミジンコ)): > 0.0079 mg/l<br>曝露時間: 21 d<br>備考: 溶解度限界値における毒性無し |

**環境毒性アセスメント**

| | | |
|---|---|---|
| 水生環境有害性(長期間) | : | 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。 |

**石英:**

**環境毒性アセスメント**

| | | |
|---|---|---|
| 水生環境有害性(急性) | : | 溶解度限界値における毒性無し |
| 水生環境有害性(長期間) | : | 溶解度限界値における毒性無し |

**残留性・分解性**

**成分:**

**雲母:**

| | | |
|---|---|---|
| 生分解性 | : | 結果: 易分解性ではない。 |

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

| | | |
|---|---|---|
| 生分解性 | : | 結果: 易分解性ではない。<br>生分解: 3.7 %<br>曝露時間: 28 d<br>方法: OECD 試験ガイドライン 310 |
| 水中での安定性 | : | 分解半減期: 69.3 - 144 h (24.6 ° C) pH: 7<br>方法: OECD 試験ガイドライン 111 |

**生体蓄積性**

**成分:**

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

| | | |
|---|---|---|
| n-オクタノール／水分配係数 | : | log Pow: 6.48 (25.1 ° C) |

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

**成分:**

**オクタメチルシクロテトラシロキサン:**

PBT および vPvB の評価結果 : 備考: オクタメチルシクロテトラシロキサン (D4)は、現行の PBT および vPvB に関する REACh 附則 XIII の基準に合致している。カナダにおいて、D4 はアセスメントされ、PiT 基準を満たすと見なされている。しかし、D4 は既知の PBT/vPvB 物質と同様の挙動を示さない。実地研究による科学的根拠によれば D4 は水性および陸生食物網において生物濃縮性はないことを示している。空気中の D4 は、大気中に自然に存在するヒドロキシルラジカルと反応して分解される。ヒドロキシルラジカルとの反応により分解されなかった空気中の D4 が、空気中、水中、土壌中、生物中に蓄積するとは見られない。

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法**

残余廃棄物 : 現地の規定に従い、処分する。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
特に指定が無い場合、新品の製品として廃棄してください。

## 14. 輸送上の注意

**国際規定**

**陸上輸送(UNRTDG)**
危険物として規制されていない

**航空輸送(IATA-DGR)**
危険物として規制されていない

**海上輸送(IMDG-Code)**
危険物として規制されていない

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**
供給された状態の製品には不適用。

**国内規制**

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

## 15. 適用法令

**関連法規**

**消防法**

指定可燃物, 合成樹脂類, その他のもの, (3000 キログラム)

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法**

**製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

| 化学名 | 番号 | 含有量 (%) |
|---|---|---|
| シリカ | 312 | >=1 - <10 |

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

法第 57 条（施行令第 18 条）

| 化学名 | 番号 |
|---|---|
| シリカ | 312 |

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

| | | |
|---|---|---|
| ばら積み輸送 | : | 供給された状態の製品には不適用。 |
| 個品輸送 | : | 海洋汚染物質には該当しない |

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:**

| | | |
|---|---|---|
| NZIoC | : | 全成分は収載または免除されている。 |
| AICS | : | 全成分は収載または免除されている。 |
| IECSC | : | 全成分は収載または免除されている。 |
| ENCS/ISHL | : | 全ての成分が化審法/安衛法の既存物質/公表物質として収載されている、または収載の対象外の成分である。 |
| KECI | : | 全成分は収載、免除、または通知されている。 |
| PICCS | : | 全成分は収載または免除されている。 |
| DSL | : | 本製品中の全ての化学成分は CEPA 1999 および NSNR に準拠しており、カナダ国内物質リスト(DSL)に収載されているか免除されている。 |

| | | |
|---|---|---|
| REACH | : | ダウコーニング EU 法人からの購入物向けの全成分は、現在もしくは前もって登録されているか、REACH.における例外として取り扱われています。 非ダウコーニング EU 法人からの購入物向けの全成分で、EEA への輸出を目的としている場合は、 DC の代理店もしくはローカルオフィスにお問い合わせください。 |
| TSCA | : | 本製品中の全ての化学成分は米国有害物質規制法 （TSCA）インベントリーリストに収載または免除されている。 |
| TCSI | : | 全成分は収載または免除されている。 |

## 16. その他の情報

**詳細情報**

| | | |
|---|---|---|
| 引用文献 | : | 内部技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、 OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 http://echa.europa.eu/の検索結果 |

以前バージョンから変更された項目は本文書では 2 本線で強調表示されています。

| | | |
|---|---|---|
| 日付フォーマット | : | 年/月/日 |

**その他の略語の全文**

| | | |
|---|---|---|
| ACGIH | : | 米国。 ACGIH 限界閾値 （TLV） |
| DCC OEL | : | ダウコーニングガイド |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | : | 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度 |
| ACGIH / TWA | : | 8 時間、時間加重平均 |
| DCC OEL / TWA | : | 時間加重平均 |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-M | : | 許容濃度 |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-C | : | 最大許容濃度 |

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト （カナダ）; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 （日本）; ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致

死濃度; LD50 - 50%致死量（半数致死量）; MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性性・生体蓄積性・有毒性(物質）; PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - （定量的）構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認 可および登録（REACH）に関する規則（EC）No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDS の頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA

# [会社情報]

販売者：(株)スズキ自販滋賀
所在地：滋賀県栗東市六地蔵1172
TEL:077-551-1588